

令和元年度自治体SDGsモデル事業⑧

熊本県熊本市

熊本地震の経験と教訓をいかした地域（防災）力の向上事業

平成28年に発生した熊本地震での経験をいかし、自主自立のまちづくりを行う「地域主義」という基本理念にもとづいた「地域（防災）力の向上事業」により地域単位の防災力を高めるとともに、地域エネルギーの地産地消、EVによる電力供給、EVバスの導入促進等によりエネルギー（電力）を核としたライフラインの強靱化を促進。

＜取組課題＞
新しい熊本の成長をけん引する
地域経済の活性化

＜取組課題＞
災害時に力を発揮する
地域コミュニティの活性化

経済

2 持続可能な開発目標 (SDGs) 8 経済成長 9 産業・イノベーション 12 持続可能な消費と生産

農業

- 日本一の園芸産地づくりの推進
- くまもと食の復興PR・ブランド化や地産地消の推進

エネルギー

- EVバスをはじめとする新産業の創出支援

ヘルスケア

- 医工連携によるヘルスケア産業の振興

観光

- 自然環境や歴史施設、復興過程をいかした観光の振興

三側面をつなぐ統合的取組
ライフライン強靱化プロジェクト

① 地域エネルギーの地産地消の発展

自立分散型エネルギーシステムで電気料金削減
ごみ焼却施設の電力・余熱利用で健康増進施設運営→地域活性化（災害時は避難所）

② EVの電力供給に係る官民連携事業

防災・環境意識の向上（災害時は避難所等で電力供給）

③ EVバスの導入促進事業

産官学による中古バスのEV化による新産業創出（災害時は避難所等で電力供給）

地域エネルギー会社
EV充電拠点
平時/災害時併用

低炭素化・大気汚染の低減

社会

3 健康的な生活 4 質の高い教育 11 持続可能な都市とコミュニティ 17 パートnership for development

健康

- 健康を軸とした自主自立のまちづくり
- 避難所運営委員会設置と防災士養成

防災

- 学校での防災教育、ESDの推進
- 災害時要援護者対策と地域包括ケアの構築
- 基幹公共交通軸の強化とバス路線網再編



復旧中の熊本城

＜取組課題＞
自然環境をいかした
防災・減災対策の強化

環境

6 清潔な水と衛生 7 持続可能なエネルギー 13 気候変動 14 海洋資源 15 陸域生態系

自然環境

- 地下水の質・量の保全と地域循環

防災・減災

- マンホールトイレの設置等による避難所環境の向上
- 官民連携による防災井戸や電力の確保



大規模災害時に充電拠点からEV、EVバスを避難所等へ